

JILPT 調査シリーズ

No.137

2015年3月

企業の地方拠点における採用活動 に関する調査

The Japan Institute
for
Labour Policy and Training

独立行政法人 労働政策研究・研修機構



企業の地方拠点における採用活動 に関する調査

独立行政法人 労働政策研究・研修機構

The Japan Institute for Labour Policy and Training

ま え が き

我が国において、良好な雇用機会を提供している代表的な企業類型の1つとして、全国展開をしている大企業が挙げられる。これらの大企業は、四年制大学の新規卒業者（大卒新人）を採用する際「本社一括採用」を行ってきたと言われる。また、採用後、基本的には職種や勤務地の範囲に明確な定めを設けず柔軟に人材を活用する一方で、採用後は定年まで雇用を保障することに努めてきたと言われる。

このような慣行がある中で、労働政策研究・研修機構（JILPT）は、厚生労働省職業安定局派遣・有期労働対策部企画課若年者雇用対策室より、緊急調査「企業の地方拠点における人員確保」の要請を受けた。要請の内容は、「本社一括採用」が主流となっている現状での地元（地方）の大学生等の就職状況を調査すること、地元（地方）の大学生等が地元にとどまりながら、全国展開をしている大企業へ採用され職業生活を全うできる可能性を探ることなどである。

かかる要請内容と大企業における採用慣行を踏まえて、JILPTでは、次の4つの事柄に着目することとした。まず、①本人の希望に基づいて配属先（勤務地・勤務エリア）を決める仕組みについて。地方出身・地方大学の学生の地元就職機会の問題に関連して、本人の希望に基づいて配属先（勤務地・勤務エリア）を決める仕組みが整っていれば、問題は解消されると考えられる。そこで、そのような仕組みの普及状況を明らかにすることとした。

しかし現実には、そのような企業は限られている可能性がある。そこで、②大卒新人を対象とした勤務地・勤務エリアを限定した採用（勤務地限定社員の採用）の普及状況、担当業務、および採用や採用後の活用における課題を明らかにすることとした。その上で、大企業における③地方拠点での独自採用を実施している割合、その背景、対象職種、および、課題について明らかにすることとした。

最後に、特に第2、第3の論点を踏まえて、④地方拠点での大卒新人の採用活動において企業がハローワークとどのように連携しているのかを明らかにすることとした。

本調査報告書で示された諸事実が、政・労・使の当事者の方々にとって、日本企業における採用活動として指摘されてきた特徴を改めて認識する基礎資料となるとともに、今後の採用方法のあり方を考える上での手がかりの1つとなれば、幸いである。最後に、本調査にご協力いただいた企業の人事担当者の方々に厚くお礼申し上げる次第である。

2015年3月

独立行政法人 労働政策研究・研修機構
理事長 菅野和夫

執筆担当者（執筆順）

| 氏名 | 所属 | 執筆箇所 |
|-------------------|---------------------|-----------------------------|
| たかはし こうじ 高橋 康二 | 労働政策研究・研修機構 研究員 | 本編 第1章～第4章 資料編（A社、C社、E社） |
| にしむら いたる 西村 純 | 労働政策研究・研修機構 研究員 | 本編 第4章 資料編（B社） |
| おぎの のぼる 荻野 登 | 労働政策研究・研修機構 調査・解析部長 | 資料編（D社） |

※資料編「アンケート調査 集計結果」は、労働政策研究・研修機構の臨時研究協力員、山口墨が作成した。

「企業の地方拠点における人員確保に関する調査」研究会メンバー

（2015年3月末時点）

| | |
|-------------------|--------------------------|
| たかはし こうじ 高橋 康二 | 労働政策研究・研修機構 研究員 |
| にしむら いたる 西村 純 | 労働政策研究・研修機構 研究員 |
| おぎの のぼる 荻野 登 | 労働政策研究・研修機構 調査・解析部長 |
| ぐんじ まさと 郡司 正人 | 労働政策研究・研修機構 調査・解析部次長 |
| やまぐち るい 山口 墨 | 労働政策研究・研修機構 臨時研究協力員 |
| ふくい やすたか 福井 康貴 | 東京大学高齢社会総合研究機構 特任助教（社会学） |
| にいたのりこ 仁井田典子 | 埼玉大学 他 非常勤講師（社会学） |

企業の地方拠点における採用活動に関する調査

目次

まえがき

執筆担当者

目次

| | |
|---------------------------|----|
| 本編 | 1 |
| 第1章 はじめに | 3 |
| 第1節 問題設定 | 3 |
| 第2節 調査概要 | 5 |
| 第3節 本報告書の構成 | 8 |
| 第2章 アンケート調査結果 | 10 |
| 第1節 基本的な確認事項 | 10 |
| 第2節 大卒新人の採用・配属形態 | 11 |
| 第3節 本人の希望に基づいて配属先を決めている企業 | 12 |
| 第4節 勤務地・勤務エリアを限定した採用 | 15 |
| 第5節 地方拠点での独自採用 | 22 |
| 第6節 小括 | 26 |
| 第3章 ヒアリング調査結果 | 28 |
| 第1節 事例の要約 | 28 |
| 第2節 事例から読み取れる事柄 | 31 |
| 第4章 おわりに | 36 |
| 第1節 調査結果の要点 | 36 |
| 第2節 含意 | 37 |
| 資料編 | 39 |
| 1. ヒアリング調査 ケースレコード | 41 |
| 機械製販 A 社 | 43 |
| 食品製造 B 社 | 49 |
| 卸売 C 社 | 55 |
| サービス D 社 | 58 |
| 機械製造 E 社 | 63 |
| 2. アンケート調査 調査票 | 73 |
| 3. アンケート調査 集計結果 | 83 |